

令和2年度第4回仙北地域協議会会議録

令和2年11月25日

仙北地域協議会

令和2年度第4回仙北地域協議会会議録目次

■開催日時	1
■開催場所	1
■出席委員	1
■欠席委員	1
■出席職員	1
■次第	1
■開会	2
■会長あいさつ	2
■支所長あいさつ	2
■会議録署名委員の指名	2
■報告 (1) 地域の魅力再発見事業について	2
(2) 令和2年度地域枠予算申請状況について	5
■協議 仙北地域の未来を語る会について	7
■その他	9
■閉会	9
■署名	9

令和2年度 第4回仙北地域協議会 会議録

■日 時：令和2年11月25日（水） 午後2時

■会 場：さくまろ館 大研修室

■出席委員：11名

石田 常盤、 草 薨 美 香、 熊 谷 孝 弘、 小 松 郁 子、
小 柳 伸 一、 佐々木 千 秋、 佐 藤 あや子、 佐 藤 尚 、
須 田 和 久、 田 村 雅 史、 中 村 健 秀

■欠席委員：3名

伊 藤 歩 美、 藤 原 稔、 森 元 通 友

■出席職員：6名

竹村 由喜美（仙北支所長） 佐藤 治彦（農林建設課長）
小松 暢子（仙北公民館長） 佐藤 湫（仙北公民館主事）
富樫 由喜子（地域活性化推進室副主幹） 川原 文人（地域活性化推進室主任）

■次 第：

- 1 開 会
 - 2 会長あいさつ
 - 3 支所長あいさつ
 - 4 会議録署名委員の指名
 - 5 報 告
 - 6 協 議
 - 7 そ の 他
 - 8 閉 会
-

(午後 2時 開会)

○中村会長（以下「会長」と表記）

皆さんこんにちは。今日もご出席いただきまして、ありがとうございます。

今日は報告案件が2件、協議として1件あるようです。皆様からご意見等いただきますよう、よろしくお願いいたします。

コロナが落ち着いてきたように思っておりましたが、最近も大仙市で1名感染者が出るなど、気持ちも落ち着かない状況ではありますが、皆様からご意見等賜りますよう、よろしくお願いいたします。

○竹村支所長（以下「支所長」と表記）

おつかれさまです。本日は大変お忙しいなか、お集まりいただきまして、ありがとうございました。今日の案件は、報告として、前回皆様からご協議していただきました、地域の魅力再発見事業について、先日市長ヒアリングが終わりましたので、そのご報告をさせていただきますことと、地域枠予算の申請状況について、協議ではアンケートを取らせていただきました、仙北地域の未来を語る会についての報告と、それについてのご協議をお願いすることとなっております。よろしくお願いいたします。

○事務局（地域活性化推進室）

この後の進行につきましては、条例の規定により、中村会長よりお願いいたします。

○会長

それでは、次第の4番、会議録署名委員の指名を行います。今回の会議録署名委員は、草薨美香委員と、小柳伸一委員にお願いいたします。よろしくお願いいたします。

それでは、次第の5番、報告ということで、(1)地域の魅力再発見事業について、事務局から説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき説明およびかさはらもとじ氏による歌唱披露】

○会長

かさはらもとじさんから作っていただきました仙北地域ソングのご感想などいただければと思います。須田さんいかがでしたか。

○須田和久委員

よかったです。池田邸も歌詞に入れていただいて。

CDは、たった50枚しか作らないのですか。

○事務局（地域活性化推進室）

今のところはまず50枚ということです。販売等ではなく図書館で貸し出しなど、市内の各所に配布して利用してもらうことを想定しています。

○須田和久委員

できれば池田邸でさっそく流したいと思います。

○佐藤尚委員

面白いのは、仙北地域ソングとありながら、歌詞に「仙北」と入っていないけれども、ふるさとが分かるという、そういう内容だからすごくよかったと思う。

○佐々木千秋委員

いろいろ彩夏や蝦夷ほたるなど、イベントも入れていただいて、仙北の人が聞くと響くような歌詞だと思う。ふれあいのまちと何回か出てくるので、タイトルの候補として、私はふれあいのまちが個人的にはタイトルとしていいのではと思う。

○会長

熊谷委員さん、いかがですか。

○熊谷孝弘委員

いい曲だと思います。最後のところ、音程高すぎて皆さん歌えますかね。

○かさはらもとじ氏

最後の歌唱以外は合唱キーとなっているので、男声でも女声でも歌えそうな形で作成しています。最後の部分も高い音ですが、合唱の際の見せ場かなと思います。もし可能であれば、卒業式などで、卒業生と在校生でエールの交換などの形で歌ってもらえたら幸せだなと思います。

○須田和久委員

ぜひ、FMはなびでも流してください。

○かさはらもとじ氏

それについては、すでに了承いただいております、支所の方から許可を得てからになります。

○田村副会長（以下「副会長」と表記）

とりあえず覚えてもらわないといけないので、小学校は難しいかもしれないが、中学校の合唱コンクールの課題曲にしてもらうなどして、活用してもらえればいいかなと思う。

○会長

タイトルを「ふれあいのまち」に絞らなくてもよかったかな、とも思いまして、かさほさんも考えられたと思いますが、「ふれあいのまち」以外思いつかないです。他にも「～のまち」などのタイトルの曲があると思う。

○佐々木千秋委員

この曲は曲と詞、どちらを先に書かれたのですか。

○かさほらもとじ氏

今回は、詞を先に作りました。同時進行のようなところもありましたが。

○副会長

編曲は、どなたがなされたのですか。

○かさほらもとじ氏

編曲は、秋田市のエンジニアの方に担当してもらいました。大変実績のある方で、大曲の花火で使われている「いざないの街」や「夢の空」の楽曲も製作されています。

○石田常盤委員

著作権はどうなっていますか。

○かさほらもとじ氏

権利は全て大仙市の方になります。

○会長

平安行列継承事業について、皆さんからご意見等ございませんか。小町の衣装は、以前も作っていたのですか。

○事務局（地域活性化推進室）

以前からあるが、古くなってきている。

○熊谷孝弘委員

サイズは、中学生から大人まで着られるのか。

○事務局（地域活性化推進室）

中学生が出演する前までは、新規採用の市職員が出演していたが、その頃から特にサイズで問題になることはなかった。

○石田常盤委員

袴の長さがいろいろあるのですが、身長に合わせて上げたり下げたりできる。巫女さんの衣装など、小学生に着せる際などは調整したりする。

○会長

消耗品ですので、大事にまた使っていただきたいと思います。その他、何かございませんか。

それでは次に、(2) 地域枠予算の申請状況について、事務局から報告願います。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき説明】

№. 20 「仙北地域自治会連合会事業」

・市民主導型

事業目的：雪下ろし技能講習会を開催し、安全な雪下ろしに関する正しい知識と事故防止の意識高揚、普及啓発を図る。また、作業時に装着が義務づけられるハーネス等の装具を購入し、使用を希望する自治会に貸し出す事業を行う。

申請団体：仙北地域自治会連合会

申請額：93,749円（負担金及び補助金）

№. 21 「柵磨呂くん着ぐるみ管理事業」

・行政主導型

事業目的：仙北地域のマスコットキャラクター「柵磨呂くん」の着ぐるみを定期的にクリーニングするほか、着ぐるみに脱着可能なマスクを製作・装着することで、イベント等において新型コロナウイルス対策の啓発としても活用できるようにする。

申請団体：仙北支所地域活性化推進室

申請額：33,000円（消耗品費・手数料等）

№. 22 「史跡の里の食文化継承事業」

・市民主導型

事業目的：餅や地元産の食材を使った料理講習会を行い、地域の食文化の継承につなげる。

申請団体：ふれあい交流さくまろ会

申請額：17,000円（負担金及び補助金）

№. 23 「北川目自治会お堂の整備事業」

・市民協働型

事業目的：昔ながらの文化的価値とも言うべき鍾馗様を構成に永く継承し、地域住民の安全・健康・学業成就などを祈願していく。これらを通して地域住民の親睦を図っていく。

申請団体：北川目自治会

申請額：187,836円（消耗品費）

No. 24「加才信夫俳句碑標柱整備事業」

・市民協働型

事業目的：板見内神社（北畑）境内に「加才信夫句碑」があるが、その存在をいくらかでも知ってもらうため、その一助として標柱の設置に取り組む。

申請団体：大仙市仙北史談会

申請額：62,700円（印刷製本費・消耗品費）

○会長

ただいま、事務局から説明がありましたが、これについて、皆さんからご意見、ご質問などいただきたいと思います。

No. 20の雪下ろし講演会の対象はどなたか。

○事務局（地域活性化推進室）

各自治会長、地域協議会委員の皆様のほか、仙北地域に在住又は勤務の方を対象としている。昨年は雪がないことから中止としたが、今年は雪が降らなくても講習会を開催する予定。

○副会長

今年は大仙市全体の講習会などはないのか。

○事務局（地域活性化推進室）

全体の講習会もあるが、それとは別に独自で実施する。

○会長

最近、柵磨呂くんの着ぐるみは活用できているのか。

○事務局（地域活性化推進室）

先日、旧池田氏庭園で使用している。

○会長

コロナ対策等に合わせて、柵磨呂くんの普及にも活用していただきたいと思います。

その他、ございませんか。なければ、次第の6、協議ということで、仙北地域の未来を語る会について、事務局より説明願います。

○事務局（地域活性化推進室）

【配布資料に基づき説明】

○会長

まず、未来を語る会の開催の可否についてですが、開催したほうがよいという方5名と、見合わせたほうがよいという方8名ということで、見合わせたほうがよいということで進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【はいの声多数】

今日も、大仙市内で1名感染したとの情報があり、1人出ると行事などがパタパタと中止になってしまう。今後の感染状況を見極めてというご意見もあり、今回は見合わせる方向で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

【はいの声多数】

未来を語る会に中学生を呼ぶか呼ばないかについて、新年度に入る前に要望した方がよいとのことと、議題については、中学生が意見を出しやすいものにする必要があると思う。中学生は全員を呼ぶわけではないですよね。以前は生徒会から来てもらったと思いますが。

○事務局（地域活性化推進室）

そうです。

○副会長

中学生を呼ぶのは毎年でなく、何年かに1回なのか。

○支所長

そのような決まりはないが、継続的に中学生に来てもらうとすれば、中学校へ依頼することになる。市の中学生議会は、3年に1回と決まっていて、最近だと昨年度実施している。

○会長

未来を語る会の期日については、これまでと同じような時期になるのか。

○支所長

前は11月にやっていて、昨年度は遅れて1月に行った。学校側からすれば、1月よりは11月の方がよいのではと思われる。細かいところまでは今回決めなくても、11月頃に中学生に依頼して行うということで決めていただければ、中学校に依頼するなどしたいと思う。

○須田和久委員

中学生を呼んで、中学生向けのテーマで意見を出してもらえるのであれば依頼すればいいと思うが、例えば防災などをテーマにして中学生を呼んでも、場違いのように思う。テーマを決めるのが先ではないか。

○支所長

中学生を呼ぶとすれば、早い時期に依頼した方がよいということ。中学生を呼ぶ、と先に決めて、テーマについては中学生に合わせたテーマを考えて決めていくとして、呼ばない年は、また別のテーマでやるというやり方になると思う。

○会長

前回、中学生に参加してもらったのは3年くらい前だったか。3年に1回くらいは呼んで、未来を担う方々から意見を聞くような機会を作るという方向でもよいと思う。

○副会長

私は毎年やってもいいと思う。未来を語る会というのは、やはり子どもたちに対してのことだと思う。3年に1回のスパンだとだいぶ間が空いてしまうと思う。

○佐々木千秋委員

最近はコロナ禍で、子どもたちが自分の就きたい仕事が将来あるのかどうか、かなり迷いや不安があると聞いている。このような社会情勢で子どもたちがどのように考えているかということもあるので、テーマは後にしても来年開催できればいいと思う。

○副会長

中学校でテーマを決めるわけではないし、職場体験や就職説明会などでいろいろな人から話を聞くことで、県内就職が増えたという話も聞いている。

○会長

ぜひ来年度は呼んでもらって、3年に1回だとすれば、中学生議会から年をずらして実施すればいいと思う。呼ぶのは中学生だけでよろしいですかね。

○佐々木千秋委員

高校生を集めるのは難しいのではないか。あちこちに散らばっているのでは。

○会長

そうすれば、来年は中学生を呼ぶということでもよろしいのではないのでしょうか。

○支所長

11月頃を目途に開催する、ということではよろしいでしょうか。

【賛成の声多数】

○会長

そうすれば、そのように進めていただければと思います。

その他ございませんか。なければ、会を閉じてよろしいでしょうか。

特にないようですので、以上で第4回目の地域協議会を閉じたいと思います。おつかれさまでした。

(午後 3時15分 閉会)

仙北地域協議会運営規程第7条第2項の規定によりここに署名する。

会議録署名委員

草 薨 美 香



小 柳 伸 一

